

大地のために 捨てればいい

高木庸子

1. 雨の音に、陽射しに、風に  
土は喜びの背伸びをして  
稲はさざめき笑いながら  
空を抱きしめた昨日は死んだ

「原発が殺した」

2. 川の流れに、魚がはねて、水藻がゆれる  
田畠に水を含ませて  
流れは歌いながらミズスマシを運ぶ  
大地を潤した昨日は死んだ

「原発が殺した」

3. 米を炊いて、魚を焼いて、芋を煮た  
幸せを噛みしめた食べたものが  
何百年命を支えた作物が、  
同じ味をなのに昨日死んだ

「原発が殺した」

4. 大地のために、空のために、  
海の為に、子供たちのために、  
人類のために、全ての生き物のために  
死の商人が売りつけた

恐ろしい道具は捨てればいい  
豊かなる大地のためには